低濃度 PCB 焼却へ　環境省

The Knights

猛毒で約30年前から製造･使用が禁止されているポリ塩化ビフェニル（PCB）の濃度が低い液体が、一般の産業廃棄物処理施設において 800℃以上で高温焼却される見通しとなりました。環境省は、高温で焼却すれば安全に無害化できると判断し、今年度中に学識経験者らでつくる検討委員会に諮ったうえで電機メーカーなどと焼却の枠組みづくりを始めるとともに、市民に安全性などへの理解を求める予定です。

高温焼却の対象は、工場やビルで使用されている電気設備の変圧器など約 175 万台から 2000 年以降に検出された PCB 入り絶縁油約 40 万ｷﾛﾘｯﾄﾙで、PCB の濃度はいずれも 10ｐｐｍ（ｐｐｍは 100 万分の 1）程度と低く、混入していた PCB は計約 5 万ﾄﾝでした。

規制前に広く使われた形のまま回収･保管されている濃度 60％以上の高濃度 PCB が混入した機器約 34 万台の化学処理は、2016 年の完全終了を目指して昨年から一部で始まっており、専用の処理施設は現在 5 ヵ所あります。自前の施設で処理している電力会社などの企業もありますが、中小企業や施設を持たない業者が保管する低濃度 PCB の処理はこれから始まります。

廃油の高温焼却に対応できる産廃施設は、全国約 400 ヵ所に広がっています。今後、すべての対象機器に高コストの化学処理を専用施設で施すと、費用は計 2 兆円程度になると試算されていますが、高温焼却の導入により費用が安く済むと見込まれます。

環境省は、技術の進歩に加え、PCB を保管する企業の移転や倒産などで PCB が紛失するケースも多いため、早期の処理を進めることとしています。

資料：2005 年 6 月 6 日付　朝日新聞

環境技術箇所　明石康伸

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社
〒336 -0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590　FAX.048-886-2817
ＵＲＬ：www.knights.co.jp

■事業内容■

1 環境管理に伴う調査･測定･化学分析
2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
3 ビル管理に伴う水質検査･空気環境測定
4 水道法第 20 条に基づく水質検査
5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
7 トータルサニテーション管理
8 委託試験･研究･開発

LLOYD'S REGISTER QUALITY ASSURANCE ISO9001
UKAS QUALITY MANAGEMENT 001